

令和5年度附属幼稚園の教育に関するアンケート結果（保護者用）（回答136名）

(1) 管理・運営について

質問項目	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	肯定回答
①教育方針や教育内容を説明するための機会(保育参観、学級懇談等)を設けている	60.3	26.5	3.7	7.4	2.2	86.8
②保護者が相談したい時に話をする機会を適宜設けている	55.9	30.9	8.1	4.4	0.7	86.8
③避難訓練を定期的に行い安全対策を十分にしている	82.4	16.2	0.0	0.7	0.7	98.6
④園内の花の植え替えや落葉掃きなど環境整備を十分に行っている	92.6	5.1	1.5	0.7	0.0	94.7
⑤園内の施設・遊具は定期的に点検され、安全に整備・管理されている	64.7	25.7	9.6	0.0	0.0	90.4
⑥PTA活動が活発に行われている	80.1	15.4	3.7	0.0	0.7	95.5
⑦行事ボランティア制を始めたり、連絡アプリを導入したりするなど、園運営の改善を図っている	75.0	19.9	2.9	1.5	0.7	94.9

(2) 園の教育に関すること

①子どもの園での様子を参観や懇談、行事で知ることができる	44.9	39.7	6.6	4.4	4.4	84.6
②園は家庭への連絡を適宜行っている	48.5	28.7	13.2	5.1	4.4	77.2
③園では一人一人の子どもの成長やよさを受け止め保育している	54.4	23.5	9.6	11.0	1.5	77.9
④園は子どもが楽しんで遊びに取り組めるように環境を整えたり教材を工夫したりしている	71.3	21.3	5.1	0.7	1.5	92.6
⑤園は子どもが自分で考えて行動できるように発達年齢に応じて指導している	65.4	23.5	8.1	1.5	1.5	88.9
⑥教職員は互いによく協力し合っている	46.3	30.1	15.4	3.7	4.4	76.4
⑦附属学校園及び大学との連携した研究を保護者に伝える機会を設け、保育の質の向上に努めている	47.8	30.9	12.5	5.1	3.7	78.7

(3) 行事

①園の行事は子どもが喜んで参加できるような形で行われている	75.0	16.9	5.9	2.2	0.0	91.9
②行事のねらいが保護者にきちんと伝えられている	47.1	31.6	11.0	8.8	1.5	78.7
③保護者と園とが協力して園の行事が行われている	65.4	21.3	8.8	2.9	1.5	86.7

(4) その他

①諸経費・PTA会費・事業費等は園生活の充実のために適切に使われている	68.4	19.9	8.1	2.9	0.7	88.3
②県内の幼児教育及び研究活動の拠点として研修機会を設け地域に幼児教育を発信している	61.0	25.0	8.8	2.9	2.2	86.0
③給食の実施等、1年生への移行に向けて小学校との連携ができています	68.5	24.2	3.2	2.4	1.6	92.2
④在園児及び未就園児に向けた子育て支援の機会を設けている	46.3	33.1	13.2	4.4	2.9	79.4

【その他幼稚園の教育等に関する意見】

(1) 園の管理・運営に関すること

- ・保護者の言葉や話に耳を傾けていただき感謝しております。ありがとうございます。
- ・子どもたちの為に、いつもありがとうございます。
- ・大変な中、いつもありがとうございます。
- ・先生方にはご尽力頂き、感謝しております。大変お世話になりました。ありがとうございます。
- ・いつも大変お世話になっております。子供が幼稚園に行くのを毎日楽しみにしていることが何より親にとってはありがたく、先生方には感謝しています。
- ・子供たちも楽しく園生活を過ごしている様子です。ご指導ありがとうございます。

<幼稚園の体制に関すること>

- ・日々、子供達にそれぞれにあった対応をして頂き先生方には感謝しかありません。大変さがわかります。だからこそ附属学校の連携体制、仕事量に対し適切なのか心配になる一年でした。園だけでどうにかするのは限界があるので附属学校全体で負担を見直して頂きたいです。先生の負担を考えると登園を悩む日もありました。体調が良くても休ませる事もありました。園長先生から体調が悪い時は無理して登園しないようにして下さい(11月)と連絡があり、一概に体調が悪い時と言われても程度がわからず、鼻水の症状だけでも休ませてる保護者も多くいました。園長先生が悪いのではなく、余裕がないのだろうなと思いました。今後改善できる事を願います。
- ・教職員の人数が少ない中、子供達に影響がない様に良くやって下さっていると思います。しかし、年長になって月組は担任不在になり前期の個人面談が流れ結局して頂けなかったので園での様子などお話を伺う機会が無かったのは少し残念に思います。
- ・先生方のメンタル面など心配しています。先生方の働き方改革に加え、共働きの保護者への配慮も今後必要になってくると思います。
- ・いつもお世話になっております。先生方のおかげで楽しく園生活を過ごせております。ありがとうございます。先生方には日々頑張って子供達と接して頂き感謝しかありません。だからこそ、今年体調不良で長期お休みする先生方が多く、心配な一年でした。園だけでどうにかできる問題ではないように思います。附属学校全体で業務の見直しをして頂きたいです。11月には園長先生から体調がすぐれない方は無理して登園しないよう連絡が来たことがありました。まだ幼い子供たちは熱こそないものの常に何かしらの症状が出る事も多いので、一概にすぐれないと言われると休ませるご家庭も見受けられました。熱がある人、咳の症状がある人、など具体的に助かります。
- ・小さな幼稚園で1年間に3名もの先生方が休職なさらなくてはならなくなってしまった事態は非常に残念で、社会的にも重大な事態と捉えなくてはならないと思います。説明会では個々の先生方が何故休職となったのかのお話がありましたが、個人の性格や担当業務等に言及してそのことが理由だと短絡的にまとめるのでは体調を崩された先生方に失礼であり、違和感でした。園児、教員、保護者の協力関係で幼稚園の教育活動が成り立っているのならば、私たち保護者はそのバランスを支えるために適切に動いていたのかを個々で振り返る必要もあると思います。保護者の子どもに対する期待や心配が、時として幼稚園への過度な要求や物言いとなって、先生方に心理的な負担をかけてしまった部分はないのかも振り返らなくてはいけないと感じました。
- ・先生の人数が子供達に対して少なすぎる。見逃しが多いのはそのせいだと思います。
- ・休職の先生方がおり人手不足の中、園長先生、長谷部先生をはじめ、園全体で園をよくしようという姿勢が感じられました。
- ・教員の不足により教育体制が十分ではないように感じます。子どもの安全面が心配です。また、先生方は皆様とても大変そうなので、保護者からの相談事や聞きたいことはしにくいのが現状かと思っています。
- ・先生は足りているのか？

(2) 園の教育に関すること

<教育内容に関すること>

- ・研究幼稚園であればもっと先生方がその子に合わせた指導が出来ると思いますが、その子に合わせた指導をしてるように見えなく、出来ないからこうします。と言う対応のように感じています。
- ・先生方のおかげで子供も大きく成長することができました。3年間本当にありがとうございました。
- ・季節の制作など(例えば、節分の季節だと鬼のお面)全くないので、季節毎の制作の機会が月1回でもあるとい

い。見本を飾って、材料を置いておいて、やりたい子が自分でやるという形でも。

- ・怪我をして帰る子が多いので、もう少し安全面に配慮した指導をしていただけると、より安心して子どもを預けられると思います。
- ・食事前の手洗い指導の徹底を、引き続き宜しくお願い致します。
- ・附属幼稚園の方針は、他の幼稚園と比較すると、先生たちのご負担は大きいと思いますが、本当に熱心にご指導くださりありがとうございます。あの限られたマンパワーで本当にすごいと思います。これからも栃木県の幼児教育を引っ張って行ってほしいです。

<保育時間等>

- ・将来的に、2号向けの、一時預かり保育の実施を、検討頂けると嬉しいです。(他園と連携したり、学生ボランティアでも…。)
- ・働く身として7月の午前保育が負担に感じております。せめて数日でも良いので、午後まで保育をして頂きたいです。
- ・色々な部分で昨今の世の中に合っていないと思います。七月の早帰りもお弁当が悪くなるからと言う理由は少し意味がわかりません。保護者の負担が高いのも今時ではないように思います。共働きで祖父母の助けがないと預けられないような動きは変えた方が色々な児童が集まるのではと思います。

<幼稚園からの連絡に関する事>

- ・各クラスで、学級閉鎖等があった場合そのクラスにしかお知らせがいないので、とても疑問です。学級閉鎖になったクラスだけの通知ではなく、他のクラスにも伝えるべきだと思います。学級閉鎖をするほどの内容なのであれば全体で共有すべきだと思います。
- ・園での日々の活動については、正直分からないことが多いです。持ち帰ってくる工作などから、自由に製作できて楽しんでいることは伝わってくるので、安心しています。
- ・保育の様子をたまには写真や動画で報告するなどもあってもいいかなとも思いますが、先生方の負担が増えてしまいますし、まずは先生方の業務量を整理して、保育にかける時間が増やせるようお願いしたいです。また、保育参観や発表会の写真撮影を許可して欲しいです。
- ・急な休園に対応できません
- ・園での思い出を記録として残したく、写真販売があればよりありがたかったです。
- ・感染症等で学級閉鎖、学年閉鎖等の時は対象のクラスや学年だけに知らせるのではなく全学年への周知をお願いしたいです。
- ・日々の園生活における子どもたちの表情が分からないので、週1回くらいのペースで、楽しく遊ぶ子どもたちの様子をホームページにアップするなどしてもらいたい。
- ・感染状況についての周知(現在インフルエンザ〇人、コロナ〇人、等)をして頂けると良いと思う。(小児科受診の際、『今、園でインフルやコロナは出ていますか?』と訊かれますが、答えられません)
- ・学級閉鎖についてです。突然学級閉鎖にするのではなく、(例えばクラス5~6名以上の欠席者が出た時など)、感染症や発熱等が増えてきた場合は、具体的な病名を公表してほしいです。ただの風邪だと思って、病院受診せず、家族内にインフルエンザが広がりました。
- ・感染症が出た時に、何組に何の感染症が何名出ているというお知らせをしていただくと助かります。
- ・休園、学級閉鎖等でお休みになる場合にはもう少し早めに連絡を頂けると助かります。

<PTA活動に関する事>

- ・行事ボランティア制度につきましては、各家庭様々な事情があるとは思いますが、ボランティア制では参加率が低く一部の親やPTA、先生方の負担がかなり大きかった様に思います。我が子の為に無理のない範囲で力になるのは親としての務めだと思いますので他力本願にならない様に強制ではなく少しゆるい感じでまた係制にしても良いのでは?と思いました。それでも出来ない方が一定数いらっしゃると思いますが、保護者同士お互いがお互いを慮れるような関係を築ける為にはもっとコミュニケーションが取れる場も必要かと思えます。
- ・コドモンや行事ボランティア制の導入はとても助かりました。
- ・我が子は園生活を楽しみのびのびと過ごしています。コロナ禍が過ぎ、PTAの活動も戻り嬉しく思います。
- ・保護者の方が、今の子どもの姿は今の姿で成長過程ということを理解し、我が子以外の事も温かい目で見守ってくださると嬉しいなと感じました。

(3) 行事に関すること

- ・夕涼み会や運動会等の行事の後、すぐにアンケート（感想）等回答できる場があれば嬉しい。満足度とかを問う4択ではなく、来年度に活かせるような記述式のみ（当日参加してみても保護者の意見。保護者準備等で感じた改善点など。）
- ・負担になってしまうかもしれないですが、保育参観の日がもっとあると園の様子が分かって安心します。保護者会みたいなのは必要なく、参観するだけで構わないです（例えば登園後～30分だけでも）。
- ・子供達が楽しみにしていた行事も中止になってしまいとても残念でした。

(4) その他

- ・園の中での子供たちの関わり合いや問題は園の中で解決して欲しいです。親同士で謝罪するなんて事に意味があるのでしょうか。
- ・例えば給食についても、年長だけでなく他の学年についても導入を検討して欲しいです。好き嫌いの多い子でも給食なら食べる、給食で新しい食材を知るなど親にとっても子供にとってもメリットは多いのではないかと考えています。
- ・卒業アルバムが欲しいです。難しいのであれば行事の際に撮影を可能にして欲しいです。
- ・調理用の手袋が違っていた時があるので、食品衛生法適合かどうかの確認は必要だと思う。
- ・連絡入学組と小学受験組とでその後学力の差異がどのくらいあるかどうか知りたい。（難しいとは思いますが）先生たちが復職してくださって安心しています。ご無理のないようにお願いします。根本的な教員の負担の解決はできたのかが心配です。
- ・これはいつも頂くアンケート結果に書かなくてよいのですが言わせてください。
パパママ大工に寝不足の中時間をひねりだして参加しました。「思ったより良くできていた」「ここで解散ですが まだあちらでは作業しているようです」という最後の言葉は悲しかった。
- ・保護者同士の交流やトラブルを無くすサポートも大切だと思います。

<成果>

- ・コドモンの導入など、目に見えて分かる形の改善に対して肯定意見が多くよかった。
- ・それに伴い、避難訓練や小学校への接続に対する肯定意見が増えた。
- ・コロナが明けて対面での行事が復活してよかった。
- ・行事のボランティア制についてはおおむね肯定的に受け止められているのではないかと。
- ・コドモンを導入したことで、お知らせが早く出せるようになり、手間が減り、業務改善につながった。

<課題及び改善策>

- ・教職員の協力体制は保護者にはわかりにくい。
- ・感染症については学級閉鎖も含めて全体にお知らせしてもよいのではないかと。
- ・けがが多いという評価は、細かく伝えているから余計にそのように受け止められるのだろう。園全体としても幼児期のけが等について、発達の過程も含めて繰り返し伝えていくことで保護者の意識を変えていくことも必要ではないかと。
- ・教職員の人数を増やして欲しい。けがやトラブルへの対応が年々大変になっている。
- ・こどもの姿、行事のねらいなど、伝わっていないがもったいない。保護者に園の様子がもう少し伝わるような方法をとっていただけるといいと思う。（ドキュメンテーションの活用など無理のない方法で）